

陳 情 文 書 表

受理番号	陳情7第30号	受理年月日	令和7年9月30日
件 名	目黒区立中学校の部活の地域移行に関する陳情		

【陳情の趣旨】

平素より、目黒区の教育・青少年育成にご尽力いただき、心より御礼申し上げます。

さて、現在、学校の働き方改革や地域社会との連携強化の観点から、部活動の地域移行が全国的に進められております。目黒区においても、持続可能な部活動のあり方が模索されていることと存じます。

目黒空手インターナショナルに所属する子どもたちは、様々な小学校から通っております。その後の中学校も別々の中学校に進学いたします。目黒区立中学に進学し、中学校の空手部でも活躍したいという思いで日々のお稽古に精進しておりますが、目黒区立中学校にはどこにも空手部がありません。空手を中学校の部活でやりたいので、新創設して欲しいと中学校に打診しても、他の部活がたくさんあって活動できる場所が確保できない、顧問ができる先生がいないと断られている状況です。地域移行が進み、空手をやりたい子どもたちが、それぞれの中学校の枠を越えて一緒に空手に励むことができればと思っております。

区立中学の統廃合が進み、一校あたりの生徒数が増えて、人気のあるチームスポーツは、チームとして編成できるようになったメリットはあると思いますが、部活数が増えて活動できるスペースがないなどの理由でやりたいスポーツができないのは残念です。また、部活というのは今までやったことがない子でも新しくチャレンジできる素晴らしい機会であり、スポーツ振興という観点からも、新しく部を創設できないのは残念でなりません。部活の地域移行が進んでいる中で、住んでいる地域で大きな差が生じてきており、目黒区に住む子どもたちは遅れしており、今後スポーツで活躍するはずの子どもたちの機会が失われている状況だと思います。目黒区の中学生の部活を今後も守って行くためにも、部活の地域移行を進めるためにも、活動できる場所の提供、教えてくださる人材の確保とその方に対する謝礼を含める予算の確保、中学校に対する地域移行に対する制度整備、支援体制、各所共通理解を進めていただきたく陳情書を作成いたしました。

【陳情事項】

- ① 学校部活動の地域移行に向けた制度整備・支援体制の構築をしてください。
- ② 指導者と連携した受け皿づくりの促進をしてください。
- ③ 区内の公共施設（体育館・運動場・文化施設等）の優先的利用枠の検討をしてください。
- ④ ①～③の必要な予算の検討をしてください。